



三条北ロータリークラブ週報

ロータリーを高めよ、 思いを尽くし、熱意を尽くし!!

国際ロータリー会長 バウロ V. C. コスタ 第256地区ガバナー 原 猛

例 会 日
1991. 4 . 2
累 計 No 213
当 年 No 37

会 長 / 今 井 克 義

幹 事 / 本 間 茂 男

S A A / 堀 川 正 幸

例会日 / 火曜日 PM12:30～1:30

例会場 / 三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局 / 三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行 事 : 卓話「三条産業経済動向を読む」さんしん地域経済研究所 所長 高井 茂殿

出 席 : 本日の出席 51名中37名

先週の出席率 51名中45名 88.24%

3月の出席状況 会員数51名 例会数4回 平均出席率89.22%

先週のメークアップ: 3月27日 三条RCへ 中條耕二君 吉川吉彦君

28日 燕RCへ 小林 満君

4月1日 三条南RCへ 山口龍二君 阿部誠一郎君 五十嵐英雄君

石川勝行君 山上茂夫君

ビ ジ タ ー : 三条RCより 大谷幸平君

ゲ ス ト : さんしん地域経済研究所 所長 高井 茂殿

会 長 挨 拶 : 今井克義

三月下旬頃から、四月上旬にかけてしとしと降り続く長雨はちょうど菜の花が咲いている頃にあたるため「菜種梅雨」ということは御存知の通りです。また「春霖（りん）」ともいうんだと物の本に書いてありました。この雨の下に林とかく、霖という字そのものの字義が三日以上降り続く長雨という意味だそうですので「春霖」は文字通り春の長雨です。先週、群馬県である会の総会を兼ねて2日間ゴルフに行ってきましたが2日間共、見事に雨に降られました。2日目はこの北RCのゴルフ同好会でも行ったことのある妙義山の麓（ふもと）にある妙義カントリークラブでした。ちょうど梅の花が満開でしたが、雨足がわからない程細かに降る雨に濡れて木肌が黒く光り、それに白梅が映えて見事でした。また、薄墨を流したような雲の切れ間から、妙義山のあの起伏の激しい山の頂が黒々と見え隠れするといえ殆んど白と黒の無彩色の風景でしたが、所々に散在する紅梅がわずかに色をそえていました。今日、ゲストにおいでいただいている信金情報開発センター長の高井さんのように絵心があればゴルフクラブを筆に持ち変えたいところです。今日の卓話は「三条産業経済動向を読む」という堅い話ですが機会がありましたら“美”についてお話を伺いたいと思

シェアを持つ会社があるそうです。それから新日鉄が鉄製の缶ビールを造っておりまして、厚さが誤差で1000分の1ミリだそうです。これも世界一です。プラスチックは半導体を作る時それをプラスチックパッケージというものに入れる訳ですが、これはエポキシ樹脂というものを使うんだそうです。世界中の半導体メーカーが使用するパッケージのこのプラスチックは、日本の2社、ニッ一電工と住友ベークラフトしか出来ないそうです。他は造っても使いものにならないそうです。今、例を申し上げましたが、工作機械が世界一、金型が世界一、刃物が世界一、材料が世界一という事を申し上げたかった訳であります。特に金型が世界一、刃物が世界一、材料は大手で造ってくれますけど当地ではそれらを十分に咲かしていच्छる工材屋さんがいच्छいます。本会にもおいでの訳ですが、三条にはそれだけかわりのある部門があるという事です。それから世界の中で物を造るに最も適した所は日本なのだという事を唐津先生は力説なさっておられます。1つ技術力があるという事、2つ日本独特の労使関係があるという事。労使関係というのは、転勤命令をもらってどこへでも転勤する訳ですが、これは日本だけの現象で世界ではこんな事をしたらいっぺんにストライキが起きてしまうという事です。3番目は円高で大掃除をしまして堅固な企業体制をつくり上げたという事。10年毎に日本は、例えば39～40年のオリンピック不況の時にも大掃除をしましたし、48～49年のオイルショックの時にも大掃除をしたという事例を日本経済は持っているという事です。こういう事から日本の中小企業は、強い力を持っているという事を訴えられている訳ですが、生産性をどうやったら上げられるかという事は流通に取組んでその効果を出すという事になる訳です。日本人は独創性があるという事を先生は強調されておられます。

定 例 理 事 会

開 催 日 時 平成3年4月2日（火）13:40～14:50

開 催 場 所 三条ロイヤルホテル

出 席 者 今井克義 本間茂男 平松利朗 山上茂夫 堀川正幸 石川勝行 佐藤啓策
笹原勝治 吉川吉彦

議 事 ① 4月以降例会プログラム検討の件

② 周年行事へ出席の件

③ 連続4週欠席者に対する処遇の件

④ 3/25日現在の収支決算と今後の行事関連について

⑤ 三条ローターアクト創立20周年祝儀の件

報 告 事 項 ① 湾岸戦争難民救済寄付金総額¥89,000になりました。

② クリーン協議会賛助金¥5,000円納入しました。

③ その他

4月9日例会: 100%出席例会 卓話「みんなでスポーツを！」

三条市教育委員会社会体育課 主事 野水 寛様

4月16日例会: 「西洋医学と東洋医学」小出医院 院長 小出健一先生

います。来週は御案内の通り、100%出席例会です。皆様の御協力をお願い申し上げます。

幹事報告： 本間茂男

◇新潟潟県国際交流協会より

「国際交流ボランティア登録・利用要領」についての案内がきております。

◇燕RC例会変更

日時 4月16日（火）18:30～

会場 分水町 割烹 島

◇糸魚川RCより創立30周年記念誌の送付がありました。

委員会報告：

出席委員会 吉川吉彦君

- ・次週例会は下半期100%出席例会になりますのでご協力をお願いします。
- ・クラブ定款第10条第5節(a)により、連続4回例会に出席もメークアップもしていない会員の身分は、自動的に終結する規定がありますので、ご注告申し上げます。

ニコニコボックス：

今井克義君 高井茂様の卓話ありがとうございます。

中條耕二君 高井茂さんの卓話に感謝して。来週海外出張です。100%出席を期待します。

平松利朗君 高井さん、お忙しいところを有難うございます。高井さんとは中学、高校と同級でした。彼は常に優等生、私は……。

長谷川博一君 去年11月に着工しました会社の全面改装工事が無事完成いたしました。感謝して。

赤塚正樹君 加藤君に協力して。

山本賢君

山口龍二君 ちょっと早めに。

落合益夫君

村山誠一君 BOX協力。

本間建雄美君 今日の高井様の卓話楽しみにしてます。

外山晴一君 高井さんの卓話を期待して。

石月雅司君 4／4 20年目に入る結婚記念日です。よくぞここまで来たものです。

馬場直次郎君 高井さんの卓話楽しみにしています。

山崎勲君

堀川正幸君 高井さんありがとうございます。

稲田憲治君 昨日は東京へ行きました。やはり寒く、吐く息が白くなりました。思わず「なごり雪」を口ずさみました。ノスタルジーでしょうか。それにつけても金の欲しさよ。

梨木建夫君 本日誕生日、／エイプリルフールでなくてよかった、／

木宮隆君 久しぶりに出席しましたが早退です。お許し下さい。

す。ですからおかげ様で私共の高齢者社員が腰を痛める事がなくなったとおっしゃっておられました。とにかく完全自動化に向けての研究をなさっておられます。この会社は今年税引前利益をかなり計上いたしました。社長にお聞きしましたら内製化に専念した結果だとおっしゃられておりました。そして独特の分配法として4分の1分配法を採用しているとの事です。創業以来この方法でやっているとのことです。1つは株主配当と資本業績、2つ目は開発研究用、3つ目不時の災害への備え、4つ目は従業員に報奨配分する。この4つです。とくに最後の従業員への報奨配分は役員は関与しない。工場長以下の査定にまかせているという事であります。次は金型製造業に移ります。プラスチック金型がどんどん精密な作業を要求されまして、この間お伺いしました所では液晶テレビ、手のひらに入る様な小さなテレビですが、その中のどれとはおっしゃいませんが、部品の金型をつくっているとの事です。最近の金型はプレスすれば出てくるわけですが、それが大変入りくんでおりまして、非常に変形なものを要請されているとの事で、技術がどんどん向上させられる様な状況に入ってきていると言っておられました。とにかく中央の大手としては質の高い仕事をしてくれる地方のメーカー、金型屋さんにランクをつけている模様があるようです。A社は専属3社に決めるとか、B社は専属4社にきめるとかというような住み分けが出てきているというふうな感触のお話しをお伺いしました。ある金型屋さんにまいりましたら、受注があまりにも多いものですからさばき切れないという状況で、時短も始まっていますし、休日も増えております。ですから韓国に完成品の輸入をお願いしまして入れ始めました。メンテナンスは当社が完全に引き受けるという条件です。ここでも国際化が進展している模様を見せる訳です。時間が無くなって全部の説明が出来ませんが、あとは読んで頂く事に致しまして、私のまとめとして申し上げたい事を少しお話しさせて頂きます。東海大学の唐津はじめ先生のお話しを読みました。その要点は、日本の中小企業は世界一だということをおっしゃっておられました。それから中小公庫の調査部長さんのお話しを聞きました。日本の中小企業は世界一だとこの方もおっしゃっておられました。その中小企業も地方の中小企業だと言うのであります。その地方の中小企業が扱っている製品は、完成品ではなくて部品とか半製品とか材料が主体だと言うことです。としますと、我が三条はそれにピッタリと当てはまると言っても良いのではないかと思った訳であります。大阪のあるメーカーで、アメリカのセスナ社からテスト的に研究依頼を受けた部品を丸二年間送り続けましたら、是非あなたの会社で造ってもらいたいという話がまい込んだそうでありまして、海外では日本の中小企業がいかに活躍して、仕事に励んでいるかという事を新聞紙上で克明にマークしているふしがあるという中小公庫の調査部長さんのお話しでした。ですから、自分の技術を磨けばメーカーは世界から見られているという事実があるようです。この唐津先生のお話しの中に例が載っておりましてYKKファスナーの吉田工業は世界のシェア70%であります。おもちゃのモーターを造っているマブチモーターも同様です。吉田工業の黒部工場では半分はファスナーを造る機械を造っているそうです。その機械を世界に持っている40数か所の工場に送り込んでファスナーを造らせているという事です。和歌山にノーリツコーキという企業がございまして、写真の現像をその日の内に仕上げてしまうという機械を造って世界の100%知覚のシェアを持っているという事です。北九州にトンカツソースで日本一の100%の